

国際基督教大学 本館



外観

東京都三鷹市に位置する国際基督教大学では「世界人権宣言」を重んじ、あらゆる人権侵害のない教育・研究・就労環境で、すべての学生および教職員が安心して過ごせるキャンパスを維持することを目指している。



大便器コーナー

白を基調としたさわやかな空間。すべての大便器ブースは男女兼用だが、入試など学外の人が利用する日には男女別トイレに変更可能なように間仕切りを用意している。



洗面コーナー

トイレ内にある2ヶ所の入口付近には、それぞれ洗面カウンターを設置。壁には「虹のような性の多様性を祝福する」という意味があるとされているレインボーカラーをモザイクタイルで配置している。



トイレ入口

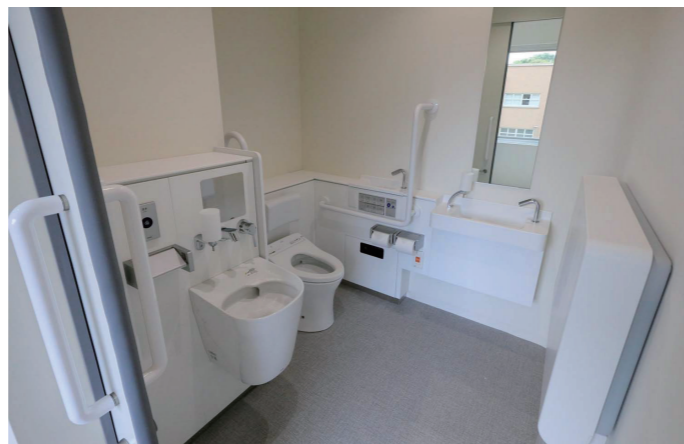


オールジェンダートイレとして改修された本館トイレ。自然光が差し込むトイレ入口は、奥を明るくすることで入りやすいよう配慮している。サインは性別を意識しないデザインを採用している。



大便器ブース

用足しから手洗いまでブース内で行うことのできる個室完結型の大便秘器ブース。個室内の凹凸を少なくすることで防犯面にも配慮している。



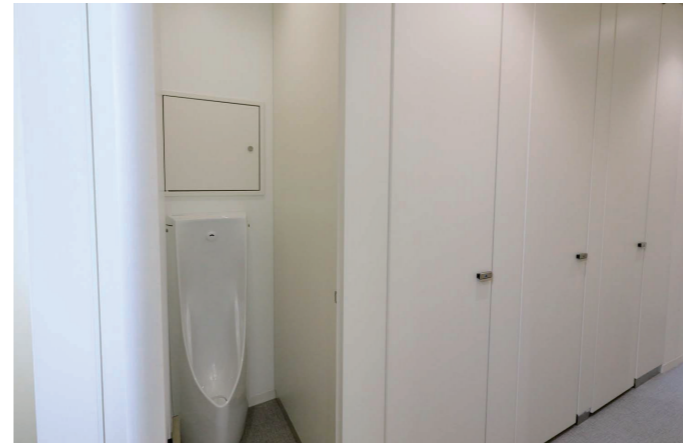
バリアフリートイレ

さまざまな身体状況の方に配慮して、トイレ入口付近にバリアフリートイレを1ヶ所設置している。



トイレ内通路

トイレ内の通路も自然光が差し込む明るいトイレ空間。通路は人とのすれ違いを軽減する回避型とし、大便器ブースは隣の音を軽減するため風車型に配置。さらに、ブース界壁は天井まで立ち上げている。



小便器ブース

男性の小用利用に配慮して、小便器の個室ブースを4ヶ所設置している。



ミラー&カウンター

大きな窓に面し、自然光の差し込むカウンターには鏡を設置し、身だしなみを整えることができる。

図面

通路内でのすれ違いを減らし回避できるレイアウト。異性とのちあわせに配慮し、小便器コーナーに続く男性が入りやすい入口と女性が入りやすい入口を設置。また、男女別に変更可能な間仕切りも用意している。



水まわりの特長

改修の経緯

国際基督教大学(ICU)では入学以来、世界人権宣言を重んじており、すべての学生および教職員が安心して過ごせるキャンパスを維持することを目指している。学内には人権委員会や人権相談制度があり、人権にかかわる啓発活動や相談活動を行っている。性的マイノリティの学生からは10年以上前よりさまざまな要望が寄せられており、寮に性別不問のフロアを設置したり、健康診断ではオールジェンダーの時間を設けるなど学生の声に応じてきた。今回の本館トイレ改修も、男女別トイレのまま改修したエリアに加え、学生の要望を反映したオールジェンダートイレを新たに設置。使う人が使いたいトイレを選べる環境を整えている。

水まわりの特長

オールジェンダートイレへの改修前に実施したアンケートで出たさまざまな声のもとに議論を重ね、利用者の心理から、レイアウト、細部に渡る配慮まで慎重に検討した。レイアウトは、行き止まりのない回避型とし、人とのすれ違いを軽減できるよう配慮。大便器ブースを90度回転し風車型に配置。大便器ブースの風车型的配置は音の軽減にもつながっている。防犯面では、ブース界壁を天井まで立ち上げ、扉の隙間を可能な限りなくすとともに、ブース内はできる限り凹凸をなくし、カメラなどを設置できないよう配慮している。国際基督教大学の理念を体現する取り組みであり、既存の男女別トイレに慣れた利用者にも受け入れられる、オールジェンダートイレに生まれ変わった。

建築概要

名称	国際基督教大学 本館
所在地	東京都三鷹市大沢3-10-2
施主	学校法人国際基督教大学
設計	清水建設株式会社
施工	清水建設株式会社
竣工年月	(改修)2020年8月
延床面積	251.1㎡(トイレ83.7㎡×3ヶ所)
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階、地上4階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49*系
 ウォンシュレットPS (擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF553*系
 棚付二連紙巻器:YH701/自動洗浄小便器:UFS910JS
 壁掛手洗器:LSH50AS/手洗器:L725/立水栓:TLC11CR
 コンパクト多機能トイレバック:UADAY01RIA1AND2W
 コンパクトオストメイトバック:UAS81RDB2NW/ペーパーシート:YKA25系